

ふるさとぎふ再生基金公募事業（平成20年度事業）について

1. 検討の経過

- ・20年度事業提案156件と19年度事業提案からの持ち越し分304件の計460件について、19年度事業の検討と同様に、法令等の制限等の有無、既存事業の有無、基金からの支出可能性の有無など「実現可能性」の視点から、事業化の検討を行った。
- ・その結果、20提案に基づく7事業（1億8,402万8千円、うち20年度事業費8,193万6千円）を20年度事業案とする。

2. 20年度事業案

1) 地域医療確保事業 (20~24年度)

- ・ドクターヘリの運用についての検討を行い、早期運用を目指し、ドクターヘリに搭乗する医師・看護師に対する実務研修を実施。
- ・医師確保を目的とした「ドクターバンク」の設置、看護職員の勤務環境改善のためのマニュアルの作成、講演会を開催。
- ・救急救命センター等の本来機能を確保を目的として、県民に正しい医療機関の選択についての理解促進を図るための講演会の開催、ガイドブックの作成を実施。

【総事業費：34,269千円 うち20年度事業費24,269千円】

2) 障害者雇用確保事業 (20~22年度)

- ・障害者の特性と能力に応じた新たな就業先・訓練先の確保のため、企業と特別支援学校・福祉施設との間の橋渡し役として、法定雇用率に達していない企業を中心に年間500社に対して、理解促進、新たな作業の創設などを働きかける「障害者雇用企業開拓コーディネーター」を設置。
- ・新たに障害者を本格的に雇用する企業を増やすため、企業の事業参入に要する調査・計画づくり・設備整備などの経費を助成。

【総事業費：82,428千円 うち20年度事業費27,476千円】

3) 発達障害児早期支援対策事業 (20~24年度)

- ・県立希望が丘学園外来診療をはじめとする発達障害の診療ができる医療機関における待機者を解消するため、5圏域において、発達障害の診療実績のある医師が勤務する医療機関（5医療機関）における発達障害専門外来の実施を支援。

【総事業費：31,800千円 うち20年度事業費6,360千円】

4) 食育推進実践事業 (20~22年度)

- ・「収穫し、調理し、食べる」までの一貫した実践的な食育を推進するため、3年間で全小学校の教職員（1校1名）を対象にした実践的な食育指導研修、児童を対象にした食育研修を実施。併せて、成果を広く普及啓発するための発表会を開催。

【総事業費：19,550千円 うち20年度事業費7,850千円】

5) 次世代へつなぐ木の国・山の国事業 (20年度)

- ・次代の地域づくりの担い手である子どもが郷土への愛着心を深めるため、地域の名木の種子を活かした「じまんの木」による名所づくりや、学校等で大切にされている木の診断・治療の実施など、木と森の関わりから豊かな心を育てる「木育」を進める。さらに、こうした「木育」の事例紹介などを含めた公開講座を開催。

【20年度事業費：5,981千円】

6) 環境にやさしい消費生活実践協働事業 (20年度)

- ・県民の地球環境保全活動を促すため、実際に活動する団体等が主体となって、ごみをつくらぬ生活や環境にやさしい商品の選び方などの実践的研修会を全市町村で開催。併せて、販売店舗において、環境にやさしい商品選びの県民向けの実践講習などを実施。

【20年度事業費：8,000千円】

7) 県美術館機能強化事業 (20年度)

- ・県民をはじめとして、誰もがより利用しやすい美術館とすることを目指し、展示スペース・県民ギャラリーの拡張など、県民ニーズを施設の機能、配置、規模等に具体的に反映した基本計画を策定。

【20年度事業費：2,000千円】